♪ようこそ!吉野熊野国立公園へ♪

11月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「ツワブキ キク科」☆

海岸の岩の上や崖などに生える。伸ばした花茎は30～75cm、黄色の頭花をつける。地際の葉は腎円形。



「ツルソバ タデ科」

海岸近くに生える。茎は地を這って広がるか斜めに立ち上がり、密な群落をつくる。花は白～淡紫色。



「アシタバ セリ科」

葉は2回3出羽状複葉。茎の上部の葉は葉身が退化し鞘だけになる。薄黄色の小さな花を複数つける。



「カラスウリ ウリ科」

雌雄異株のつる性植物。葉は掌状で浅く3～5裂し波状の鋸歯がある。果実は5～7cmで朱赤色に熟す。



「ノビル ヒガンバナ科」

漢字では野蒜。＜蒜＞はニンニク・ネギなどの総称。花序にしばしばムカゴがつく。ニラの香がする。



☆「シタキソウ キョウチクトウ科」☆

つる性の常緑多年草。海岸近くの山林内に生える。2つの袋果が水平に並び、種子は長い白毛をもつ。



「ヒロハテイショウソウ キク科」

茎の高さは30～60cmほど。頭花は3つの小花からなり、それぞれ合わさって1つの花のように見える。



「シロノセンダングサ キク科」

コセンダングサの変種でよく似ているが、本種の頭花は黄色の筒状花に加え白色の舌状花がつく。



「アサギマダラ タテハチョウ科」

長距離を移動するチョウ。涼しい地域で繁殖した子孫が、秋ごろに南下し、暖かい地域で越冬する。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！宇久井ビジターセンターへ！11月上旬は寒い日が続きましたが、下旬はどうでしょうか。寒暖差もありますが、体調には気を付けてお過ごしください。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年11月後半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園
宇久井半島

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m

○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❸　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

外の取

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

至休暇村

畑

ヤブツバキ

ヤマモモ

N
W
E
S

至 R42

マルバウツギ

上野展望台
防空監視哨

ビジターセンター

作業ヤード

トベラ

アキグミ

ヤブツバキ

ヤマモモ
ヒサカキ
ヘラシダ

モチノキ

竹林

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤマモモ

ヤブツバキ

ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

自然観察の森

ヒサカキ

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ

シロダモ

カラスザンショウ

シロダモ

沢

周回ルート

松尾展望広場

ヒサカキ

アオノクマタケラン

シロダモ

赤灯台

クスノキ

竹林

トベラ

スダジイ

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

タイミンタチバナ

地玉（じごく）の浜

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ

タブノキ

モチノキ

木のすき間から浜が見えます。

モチツツジ

駒ヶ崎灯台





凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段